

「課題提示型」提案募集シート

1 提案を募集する内容について

募集テーマ	No. 9	市内各地域での避難所運営訓練の効果的かつ効率的な実施
提案を募集する背景 (現状・課題)	全国的に大雨などの大規模災害の発生が増え、また桜島という活火山を抱えることから、本市は災害時に避難所が開設される頻度が高い。 また大規模・長期の避難所開設の際には、各地域の避難者による避難所運営が行われるが、前提として地域住民の避難所運営に対する関心、知識及び理解を深め、訓練を経験しておくことが何よりも重要である。 これまで数小学校区でプログラムの一部を試行しているが、職員が他業務を兼務する中で、全地域での早期の実施が難しい状況にある。	
課題解決に向けて募集する提案内容	市内各地域（79小学校区または38中学校区）を対象とした、住民参加の避難所運営研修、訓練の効果的かつ効率的な実施 (実証実験に関する提案希望あり)	
想定する提案の例 (イメージ)	(提案内容は下記の例に限定されるものではありません) ・①座学 ②机上訓練 ③実施訓練 ①→②→③の順番で、79小学校区または38中学校区毎にローリングする。	
課題解決に向けて、これまでに実施したことがある主な取組	・① 座学 西紫原小校区、荒田小校区、武小校区等で市政出前マートークを実施 ・② 机上訓練 西紫原小校区で桜島火山HUG(避難所運営ゲーム)を実施 ※当日は複数報道機関の取材あり 市政出前トークの詳細は、市ホームページをご参照ください。 ホーム > 環境・まちづくり > 市民との協働・対話 > 市民との対話(市長と語る会、わたしの提言、市政出前トーク等) > 市政出前トーク	

2 提案にあたっての条件について

募集期間	掲載日～令和8年3月31日 ※令和5年4月30日までとしていたものを延長しています。 (但し、予告なく中止することがあります)
想定している実施時期	(市の事業費負担がない場合) 実施地域等と調整し、随時 (市の事業費負担がある場合) 具体的提案があり、予算措置確保の後(令和7年度以降)
提案者に求める専門性	防災研修、避難所運営実務に関する知見、ノウハウ

本市から 提供できるメリット	・連携事業の広報・PR：市政記者クラブへの情報提供（報道機関へのプレスリリース）や市ホームページへの掲載等 ・関連するデータ（避難所運営マニュアルや過去の運営訓練資料等）の提供 ・実施にあたっての関係機関との協議・調整のサポート：各小中学校区への意向調査や連絡等に関するサポートを想定 ※上記は現時点で想定している内容です。連携する取組内容によって、改めて市が負担・協力できる内容を協議・検討させていただきます。
その他の留意点	・基本的には、市に事業費の負担が生じない提案を希望しています。 ・現時点での予算措置はありませんが、提案内容により予算措置を検討することがあります。（市の事業費負担がある提案の実施に関しては、関係法令等に基づき、改めて、公募等を行います。） 【参考】 ・実施者が参加料を徴収し、訓練参加者へ災害備蓄品を提供することで収益を上げ、また以降のローリングストック品の購入につなげるといったビジネスモデルが考えられます。
提案内容に関する お問い合わせ先 （事業所管課）	鹿児島市 健康福祉局 健康福祉推進部 地域福祉課 地域福祉係 電 話：０９９－２１６－１２４４ メール：hinanjyo@city.kagoshima.lg.jp